



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月31日

上場会社名 株式会社フコク 上場取引所 東  
 コード番号 5185 URL <http://www.fukoku-rubber.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 河本 太郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務部長 (氏名) 木村 尚 (TEL) 048-615-4400  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	38,008	△2.4	739	△53.3	748	△57.3	715	△43.1
2019年3月期第2四半期	38,958	5.3	1,583	6.5	1,750	12.1	1,256	28.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 390百万円(116.0%) 2019年3月期第2四半期 180百万円(△82.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	43.18	—
2019年3月期第2四半期	75.88	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	65,241	32,167	45.7
2019年3月期	67,584	32,036	43.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 29,808百万円 2019年3月期 29,634百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2020年3月期	—	10.00			
2020年3月期(予想)			—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,000	△3.8	1,100	△44.5	1,200	△43.1	900	—	54.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	17,609,130株	2019年3月期	17,609,130株
2020年3月期2Q	1,046,184株	2019年3月期	1,046,169株
2020年3月期2Q	16,562,949株	2019年3月期2Q	16,562,978株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるグローバルの経済情勢を見ますと、米国景気が比較的堅調な推移を示す一方、米中貿易摩擦の影響から中国その他の国々の景気が減退し、世界的な在庫調整と貿易不振の局面を迎えるなど、不透明感を増す状況を呈しました。

わが国におきましては、内需を軸とした企業業績の好調や雇用情勢の安定、消費税増税前の駆け込み需要などを背景として景況感は概ね緩やかな回復傾向を示したものの、グローバル情勢への懸念から輸出や設備投資が弱含み、為替と株価の変動に悩まされるなど、楽観を許さない状況が続いております。

当社グループの主要顧客先である自動車産業におきましては、EV化等に代表される市場構造の変化が加速する中、世界経済の減速懸念などが逆風となり、グローバル全体の生産が伸び悩み傾向を示しております。

このような状況を受けて当社グループの受注動向も機能品セグメント、中国エリアを中心に減少傾向が表れ、連結売上高は前年同期比2.4%減の380億8百万円となりました。また損益につきましては、減収に加えて人件費等のコスト上昇もあり、営業利益が前年同期比53.3%減の7億39百万円、経常利益が同57.3%減の7億48百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同43.1%減の7億15百万円となっております。

セグメントの経営成績は次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの変更等を行い、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

#### 機能品事業

中国を中心にワイパーブレードラバーやシール部品等の販売が下振れしており、売上高は前年同期比6.4%減の161億1百万円となりました。セグメント利益については、減収、材料費率や人件費率の上昇の影響等によって前年同期比31.3%減の8億46百万円となりました。

#### 防振事業

中国では韓国車向けダンパーの不振が尾を引いているものの、日本車や鉄道、建機向けの販売がカバーするなど全体としては堅調な受注に支えられ、売上高は前年同期比0.1%増の150億27百万円となりました。一方、セグメント利益については、中国の減収インパクト、増産投資先行の負担、材料費率や人件費率の上昇の影響等によって前年同期比14.5%減の12億8百万円となりました。

#### 金属加工事業

主に国内商用車及び小型建機関連の受注が堅調に推移したことから、売上高は前年同期比5.9%増の36億98百万円となりました。一方、セグメント利益については、採用難と人件費率の上昇の影響等によって前年同期比96.6%減の2百万円となりました。

#### ホース事業

国内外とも主に商用車向けの受注が堅調に推移したことから、売上高は前年同期比8.1%増の19億37百万円となりました。損益面ではタイ国内の商用車関連ホースの採算が改善の途上にあり、10百万円の損失となりました（前年同期は53百万円の損失）。

#### 産業機器事業

中国及び国内を中心に受注が伸び悩み、売上高は前年同期比12.1%減の15億78百万円、セグメント利益は同20.8%減の1億76百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ23億43百万円減少し、652億41百万円となりました。

流動資産は前期末に比べ26億8百万円減少し、356億43百万円となりました。これは主に、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少等によるものです。

固定資産は前期末に比べ2億64百万円増加し、295億98百万円となりました。これは主に、有形固定資産の増加等によるものです。

負債は前期末に比べ24億73百万円減少し、330億74百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少等によるものです。

純資産は前期末に比べ1億30百万円増加し、321億67百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加が為替換算調整勘定の減少を上回ったことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は45.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の業績予想につきましては、2019年5月15日発表の数字を変更しております。詳しくは本日開示した「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

上記の予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、上記予想と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,173	9,120
受取手形及び売掛金	19,487	17,616
商品及び製品	3,850	3,905
仕掛品	1,225	1,203
原材料及び貯蔵品	2,438	2,584
その他	1,088	1,223
貸倒引当金	△11	△10
流動資産合計	38,251	35,643
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,700	7,581
機械装置及び運搬具(純額)	11,132	11,288
土地	5,608	5,595
その他(純額)	2,366	2,658
有形固定資産合計	26,807	27,125
無形固定資産	878	841
投資その他の資産		
投資有価証券	744	701
その他	903	930
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,646	1,631
固定資産合計	29,333	29,598
資産合計	67,584	65,241

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,159	10,468
短期借入金	7,896	8,796
未払法人税等	237	219
賞与引当金	733	726
その他	5,754	4,775
流動負債合計	26,780	24,987
固定負債		
長期借入金	3,135	2,933
退職給付に係る負債	2,099	2,153
役員退職慰労引当金	840	232
その他	2,692	2,766
固定負債合計	8,767	8,086
負債合計	35,548	33,074
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,395	1,395
資本剰余金	1,576	1,576
利益剰余金	27,248	27,798
自己株式	△951	△951
株主資本合計	29,268	29,818
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	120	103
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	245	△114
その他の包括利益累計額合計	365	△9
非支配株主持分	2,402	2,358
純資産合計	32,036	32,167
負債純資産合計	67,584	65,241

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	38,958	38,008
売上原価	32,482	32,303
売上総利益	6,476	5,705
販売費及び一般管理費	4,892	4,965
営業利益	1,583	739
営業外収益		
受取利息	26	36
受取配当金	4	15
持分法による投資利益	4	—
為替差益	94	—
保険解約返戻金	—	41
その他	129	84
営業外収益合計	258	177
営業外費用		
支払利息	66	83
持分法による投資損失	—	1
為替差損	—	69
その他	25	15
営業外費用合計	91	169
経常利益	1,750	748
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	—	258
特別利益合計	—	258
特別損失		
投資有価証券評価損	—	1
特別損失合計	—	1
税金等調整前四半期純利益	1,750	1,004
法人税、住民税及び事業税	359	299
法人税等調整額	10	△111
法人税等合計	370	187
四半期純利益	1,380	816
非支配株主に帰属する四半期純利益	123	101
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,256	715



## (四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	1,380	816
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	△16
繰延ヘッジ損益	△6	0
為替換算調整勘定	△1,183	△398
持分法適用会社に対する持分相当額	△13	△10
その他の包括利益合計	△1,199	△425
四半期包括利益	180	390
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	200	339
非支配株主に係る四半期包括利益	△19	50

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社における税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	機能品	防振	金属加工	ホース	産業機器			
売上高								
外部顧客への売上高	16,943	15,011	3,455	1,751	1,796	38,958	—	38,958
セグメント間の 内部売上高又は振替高	262	0	36	40	—	340	△340	—
計	17,206	15,011	3,491	1,792	1,796	39,298	△340	38,958
セグメント利益 又は損失(△)	1,231	1,413	88	△53	222	2,902	△1,319	1,583

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,319百万円には、セグメント間取引消去56百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,375百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機能品	防振	金属加工	ホース	産業機器			
売上高								
外部顧客への売上高	15,832	15,027	3,666	1,903	1,578	38,008	—	38,008
セグメント間の 内部売上高又は振替高	268	—	31	34	—	334	△334	—
計	16,101	15,027	3,698	1,937	1,578	38,342	△334	38,008
セグメント利益 又は損失(△)	846	1,208	2	△10	176	2,223	△1,483	739

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,483百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,483百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、組織構造の変更に伴い、従来「新事業」セグメントとしていた報告セグメントを「産業機器」セグメントに名称変更しております。また、「産業機器」セグメントに含めていた事業の一部を全社費用に含める方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。